

Shokuhin News - March 2005 -

神戸大学 農学部 生物機能化学科 食品・栄養化学研究室
〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1 電話 078-803-6553 Fax 078-803-6553
e-mail: shoku@kobe-u.ac.jp http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin

News

2004年度卒論発表会

今年度の卒論発表会および恒例の追いコンが、3月16日(水)に行われた。発表は食物成分の細胞増殖シグナルに及ぼす影響(伊藤千夏)、リグナンとアンドロゲンのAR上での相互作用の解析(野淵翠)、光照射によるアントシアニン増産法の確立(福田進也)。3人とも1年間の成果を存分に発表できたようだ(?)。

1年間お疲れ様でした。
よくがんばった!!



追いコンにて。かなりハイテンションな野淵翠(中、B4)と圧倒される難波里衣(左、M1)と半田真須美(右、M1)



テンションを上げすぎて、お疲れの野淵。ぐっすりオヤスミ...

2004 年度卒業式・修了式

3月24日(木) 2004年度の卒業式がとり行われた。今年の卒業・修了生は、後藤美保、森敦美、大井直美(修士)、伊藤千夏、野淵翠、福田進也(学部)。また、一日

遅れで博士課程の学位記授与式が行われた。修了生は清水一雄(博士)。

卒業・修了おめでとうございます。

卒業・修了者のメッセージ

高校卒業して、2年後に短大を卒業して、また2年後に卒業ということで卒業しっぱなしで、あんまり感動がなくて、卒業式の有り難味がなくなっちゃいそうです。噂ではお酒がいっぱい飲めるそうなのでそこそこかなり楽しみです。このまま、神戸大学の大学院に進むことになったのですが、だらだらならないように気を引き締めて、ニューバージョンイトウでいきたいと思います!!

伊藤千夏(学部卒)

塩谷文章、入籍!

塩谷文章博士(01年度博)が3月25日(金)に入籍していたことが発覚。挙式は6月25日に行われる予定。お相手は今のところ明らかになっていないが、昨年末に2人で研究室に来られたのを幸運にも目撃した藤原慎司(M1)によると、「小柄できれいな人でした。写真を撮っておかなかったのが、今になって悔やまれます。」とのこと。顔写真付きでShokuhin Newsに登場していただけるのを楽しみにしています。

おめでとうございます。
末永くお幸せに。

(注) 本件は、諸事情により当分の間、他言無用ということをお願いいたします。

酒乱、後藤美保健在!

卒業・修了式の後、恒例の卒業パーティーと研究室廻りが行われた。

ここで本領を発揮したのは、後藤美保と青木由葵子(自称、現役OG)。



岡山先生(左)、後藤美保(中)、青木由葵子(右)と仲良く鏡開き。



テンションが上がり...



最後は机に倒れこむ...

後藤さん、お見事です(^.^)

日本農芸化学会 in 札幌

3月28日から30日に札幌で行われた日本農芸化学会2005年度大会に橋本堂史(01年度博)、Das(D2)、森敦美(M2)、後藤美保(M2)、大井直美(M2)、伊藤千夏(B4)が参加した。2月から徳島大(COE 研究員)で勤務している榊原啓之博士(01年度博)とともに北海道入りし、道産子気分を満喫した。29日には、OBの水野雅史先生(年度不明博士)、永安弘宣(02年度修)、現役OB・OG軍

団 (現在、生物機能開発化学) の
福田伊津子、西海信、青木由葵
子、向井理恵らとともに、雪の舞
い散る「すすきの」の町を熱くさせ
た。



イトウという名前の魚を発見。記
念写真を撮るイトウ千夏 (B4)。



北海道といえば・・・、カニですよ
ね。



「願いがかなう木」に、祈りをささ
げる榎原博士



ガラス館で、オリジナルストラップ
作成中。かなり真剣・・・。右から、
森敦美 (M2)、後藤美保 (M2)、伊
藤千夏 (B4)

Events

●4月8日 (金) 17:00 ごろより、
新入生歓迎会を開催します。今
年は、Dasさんの奥様お手製のマ
トンカレーと、4年生作成のおでん
パーティー。参加していただける
OB・OGの方は shoku@kobe-u.ac.jp までご連絡ください。

編集後記

先月に引き続き、発行が遅れてし
まってすみません。今月は、卒
業・修了式、北海道などなど、イ
ベント盛りだくさんでした。来月号
では、新しいメンバーを紹介します
。お楽しみに。(大井直美、M2)

業績

学会発表)

●榎原啓之、中川聡史、本田良
典、山口智子、藤原慎司、山下貴
稔、佐伯由利子、橋本堂史、金沢
和樹「植物性食品の機能性はポリ
フェノール含量と相関する」2005
年度日本農芸化学会3月28・30
日 (札幌) 大会講演要旨集 p.102、
2005

●森敦美、羽瀧祥子、鶴田宏樹、
橋本堂史、金沢和樹「フラボノー
ル小腸吸収時における新規の代
謝経路について」2005年度日本
農芸化学会3月28・30日 (札幌)
大会講演要旨集 p.102、2005

●橋本堂史、難波里衣、伊藤千
夏、金沢和樹「カフェイン構造類
似化合物の細胞周期開始阻害活
性について」2005年度日本農芸
化学会3月28・30日 (札幌) 大会
講演要旨集 p.104、2005

●伊藤千夏、橋本堂史、大井直
美、芦田均、村田充良、奥西勲、
金沢和樹「本わさび成分 6-
(methylsulfinyl)hexyl isothiocy-
anate はマウス表皮 JB6 細胞に
おいて細胞周期を G0/G1 期で停

止する」2005年度日本農芸化学
会3月28・30日 (札幌) 大会講演
要旨集 p.104、2005

●Swadesh Kumar Das, Takashi
Hashimoto, Kazuo Shimizu, Aki-
toshi Komoto, Kazuki Kanazawa
「Fucoxanthin induces G0/G1 ar-
rest in Hep G2 cells through
down regulation of Cyclin D1」20
05年度日本農芸化学会3月28・
30日 (札幌) 大会講演要旨集
p.105、2005

●上原万里子、太田篤胤、勝間
田真一、武藤彩乃、酒井健介、
ADLERCREUTZ Herman、金沢和
樹、鈴木和春「Daizein 代謝産物
の生体内動態に及ぼすフラクトオ
リゴ糖の影響」2005年度日本農
芸化学会3月28・30日 (札幌) 大
会講演要旨集 p.118、2005

●後藤美保、ツェンコバ・ルミアナ、
橋本堂史、金沢和樹「近赤外分
光法による酸化的ストレスの判定
方法の確立」2005年度日本農芸
化学会3月28・30日 (札幌) 大会
講演要旨集 p.170、2005

●大井直美、橋本堂史、榎原啓
之、塚原伸治、金沢和樹「肝発が
んモデルラットにおけるケルセチ
ン代謝について」2005年度日本
農芸化学会3月28・30日 (札幌)
大会講演要旨集 p.271、2005

●福田伊津子、西海信、坂根厳、
藪下善行、沢村信一、金沢和樹、
吉田健一、芦田均「茶の飲用はア
リール炭化水素受容体の活性化
を抑制する」2005年度日本農芸
化学会3月28・30日 (札幌) 大会
講演要旨集 p.272、2005